

Q10: 判定タイプで飽和交通流率の入力区分を「実測値」にすると、入力値が飽和交通流率の計算に反映されない。

A10: 入力区分選択の表は基本値用の表で、実測値は現示企画で車線毎に入力します。

■ 実測値の入力手順

- ① 判定タイプの画面にある[飽和交通流率・交通容量他]-[飽和交通流率の値]-[入力区分]で「実測値」を選択します。
- ② 現示企画の画面で車線毎の実測値を入力します。

飽和交通流率の値

入力区分
 基本値 実測値 ← ①実測値を選択します。

流入部	車線	基本値
①	左折	1800
	直進	2000
	右折	1800
②	左折	1800
	直進	2000
	右折	1800
③	左折	1800
	直進	2000
	右折	1800
④	左折	1800
	直進	2000
	右折	1800

← 基本値用の入力項目なので、この値は変更しません。

基本数値	交通量	幾何構造	現示企画	需要率	交通容量
①	車線	左直 ▾	直	直	右
	車線幅員(m)	3.50	3.50	3.50	3.00
	大型車混入率	23.80	23.80	23.80	23.80
	縦折勾配(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
	飽和交通流率	2000	2000	2000	1800

↑ ②車線毎に実測値を設定します。